

# 事務事業調書の見方

H26 の事業名称

## 平成27年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

事業名	公民館合宿通学事業	事業コード	2244
-----	-----------	-------	------

第 5 次鯖江市総合計画における体系

総合計画体系	基本施策体系	基本目標	属性	基本施策	実施施策	2041
	重点施策体系	重点施策	分類(大)	分類(小)	813	

PLAN(計画)	部署名	生涯学習課	開始年度	2009	終了年度	9999
	目的	様々な地域資源を活用して、放課後や週末等における子どもの活動支援や生活体験をととした地域の教育力の活性化を図る。				
	概要	地域の公民館に宿泊しながら、親元を離れて共同生活を行い、学校へ通うことにより、地域の人たちの協力により簡単な生活習慣の習得支援や地域住民との交流を深めるとともに、地域の教育力の向上を図る。				
	法令根拠					
	実施形態	現在	民間等委託(一部)	地域住民による地区実行委員会に業務を委託する。		

開始年度不明の場合は 0000  
終了年度未定の場合は 9999

法令上、市職員が実施すべき  
根拠がある場合、根拠を掲載

現在の実施形態について、市  
直営や民間委託等から選択

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)
	校長会への説明会議		回	目標値	2	2	2	2	2
				実績値	1	1	1		
	学校への説明会議		回	目標値	10	10	10	10	10
				実績値	10	9	9		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)		
	実施公民館数		館	目標値	10	10	10		
				実績値	9	9	8		
計算根拠	合宿通学事業を実施した公民館数		達成率(%)	90	90	80			
			ランク	B	B	B			
			実数値						

成果指標の目標値を達成するために  
行った活動の結果  
※数値化できない場合は設定困難

事業費/千円	区分	H26(2014)	H27(2014)	事業委員	正規職員	0.25	会計タイプ	一般会計
	予算額	1,747	1,700		臨時・嘱託	0.5		補助(原)事業
	決算額	1,590			※所要時間			経費区分
	繰越額	0	0					

### 事業を実施して得られた成果の結果

達成率は目標値に対する実績値の割合  
達成ランクはA: 95%以上、B: 80%以上  
~95%未満、C: 80%未満  
実数値は目標値・実績値が「%」表示の場合、分母分子(例: 45/50)を入力

### 事業に従事する職員数を1年間の執務状況を換算して表示

[計算例]

2人の職員が1年の内2ヶ月間毎日、1日の半分の時間、当該事務事業の執務を行っている場合  
 $2人 \times (2/12ヶ月) \times (1/2日) = 0.17人$   
 ※人数で示せない場合に限り、所要時間で表示(例: 45時間)

# 事務事業調書の見方

## 平成27年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK 評価	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> あり	根拠	児童が家庭における基本的な生活習慣を習得することや協調性を学ぶ必要性に対する市民ニーズがある。	【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で ずか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	公民館を会場として提供することや、夜間管理など市が関与する必要がある。	
		【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体 事業名		
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課 事業名		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
		【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	必要経費のみの子算執行で、コストを削減する余地が見当たらない。	
有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="checkbox"/> 受益者負担	根拠	教材費等以外の参加費の徴収。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> あり	根拠	地区公民館を会場とし、地域住民の協力を得て、生活指導者として参加することによって、「地域の子どもは地域で育てる」という意識の醸成、地域の教育力を向上させることが出来る。		

事業に対する市民ニーズが十分にあるかどうかの判断と根拠

行政が関与する必要があるかどうかの判断と根拠

国や県、民間等において、同様の事業が行われていないか

本市の事務事業の中に目的・概要が類似したものがないかどうか

事業に関する経費について、成果を低下させずに削減する余地があるかどうかの判断と根拠

事業の財源について、現在以上に特定財源を確保する方法があるかどうかの判断と根拠

ACTION	【平成27年度 取組み】	維持	【平成28年度 方向性】	維持
	平成27年度取組み	今年の取組み8地区で1~2泊の共同生活体験を実施した。多くの地域ボランティアの協力により、避難所体験など各種体験活動や日常の生活体験を通して、地域の人と交流と簡単な生活習慣習得のきっかけづくりにつながった。	平成28年度計画	できるだけ多くの地域で実行委員会を設置し、事業実施を進める。地域、学校の協力のもと、公募や各種団体を通してより多くの地域ボランティアの参加を促す。また、これまでの地域の特色を活かした取り組みとともに、ふるさとを知り親しみ内容や子どもたちによる企画も取り入れていく。

事業の目的達成に向けて、現在の水準以上に向上させる余地があるかどうかの判断と根拠

【H28提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="checkbox"/> 不可能					〈不可能選択理由〉
年度	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	その他
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施		

平成28年度の方性 (内部評価)  
「事務改善」「内容拡大」「内容縮小」「維持」「終了」「廃止・休止」「統合」から選択

## 外部評価結果

提案型市民主役事業として実施選択と取組状況

【平成28年度 方向性】	維持
委員の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアで成り立っている事業だが、ボランティアの負担が大きいことや地域間で温度差があるように思われる。事業の継続性を保つためには、ボランティアと関係者に対して啓発を行うことや、ボランティアの意識向上や新たな参加者の開拓など工夫が必要である。</li> <li>・今後、国、県の補助費が無くなった場合、独自の財源確保について検討すべきである。</li> <li>・社会学連携という観点から、各実行委員会で作成し、学校へのフィードバックを行うことによって、学校としての事業のとらえ方を把握しておくことも必要である。</li> </ul>

外部評価委員による主な意見

平成28年度の方性 (外部評価)  
「事務改善」「内容拡大」「内容縮小」「維持」「廃止・休止」から選択